

2022年度まちづくりネットモニター第12回調査結果 テーマ「郡山市の緑について」



郡山市では、都市緑地法第4条に基づき、緑地の適正な保全、緑化の推進を総合的かつ計画的に実施するために「郡山市緑の基本計画(2021年度～2030年度)」を策定しました。
本計画を推進するにあたり、多くの市民の皆さまから「郡山市の緑」(※)についての意見をお伺いするため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。

※ここで言う「緑」とは、樹木や草花といった植物だけでなく、山林・河川などの自然環境、農地・公園・街路樹などの人工的な緑、さらに、民有地の庭や花壇等の身近にある緑も含まれます。

(公園緑地課)

【調査概要】

- 調査期間 令和4年11月2日(水)～11月11日(金) 10日間
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 360名 (男性178名 女性182名)
- 回答者数 306名 (男性156名 女性150名)
- 回答率 85.0%

【分析】

《回答者内訳》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
女性	2	9	27	48	40	22	2	0	150
男性	0	5	11	31	41	23	32	13	156
合計	2	14	38	79	81	45	34	13	306

《緑の現状について》

- ・緑に対し、94.5%が「関心がある」または「やや関心がある」と回答した。(問1)
- ・10年前と比較した緑の量の変化について、41.8%が「変わらない」と回答し、「やや減った」または「減った」は32.4%、「増えた」または「やや増えた」は7.9%であった。(問3)

《公園について》

- ・公園の利用頻度について、24.2%が「ほとんど利用しない」と回答した。(問7)
- ・公園を利用する理由として、「散歩、散策」(46.6%)が最も多く、「子どもを遊ばせるため」26.3%が次いで多い。また公園を利用しない理由として、「利用するきっかけ、時間がない」51.4%が最も多い。(問10、問11)

《今後の緑の方針について》

- ・市が実施する取組みに望むこととして、「公園・街路樹等の適切な維持管理」63.7%が最も多く、市民が実践している(または今後実践したい)取組みとして「自宅の緑化」60.8%が最も多い。(問18、問22)

【考察】

・緑への関心度については、「関心がある」「やや関心がある」が9割を超えており、多くの市民が高い関心を寄せている。一方で、緑に関して実践している(実践したい)取組みはないと回答した方が2割強おり、市が行う緑化支援策の更なる周知や、気軽に参加できるイベントの開催など、市民参加を促す取組みが必要である。

・10年前と比較した緑の量は、「変化なし」、または、「減少した」との回答が多かったものの、現状の緑の質について、肯定的な回答(満足、やや満足、適正の合計)の割合が6割を超えており、郡山市の緑はおおむね良好であると考えられる。一方で、田畑の大幅な減少や公園・街路樹の管理不足等が指摘されていることから、今後、緑の保全・管理を一層強化する必要がある。

・公園を「ほとんど利用していない」、「年に数回」の方が約半数と公園の利用頻度はあまり高くない。どのような公園になれば利用したいかについて、駐車場や民間が運営する施設の整備等があげられており、利用したくなる公園を目指した施設整備や維持管理が必要である。

・市と市民が協働して実施すべき取組みについて、約半数の方が「公園・街路樹等の適切な維持管理」をあげており、行政・民間事業者・地域の橋渡し役となる中間支援組織の設置を検討する必要がある。

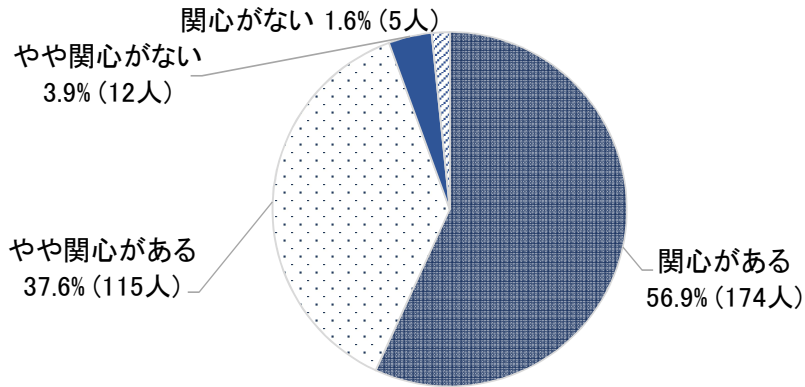
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

※複数回答・自由回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答・自由回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。

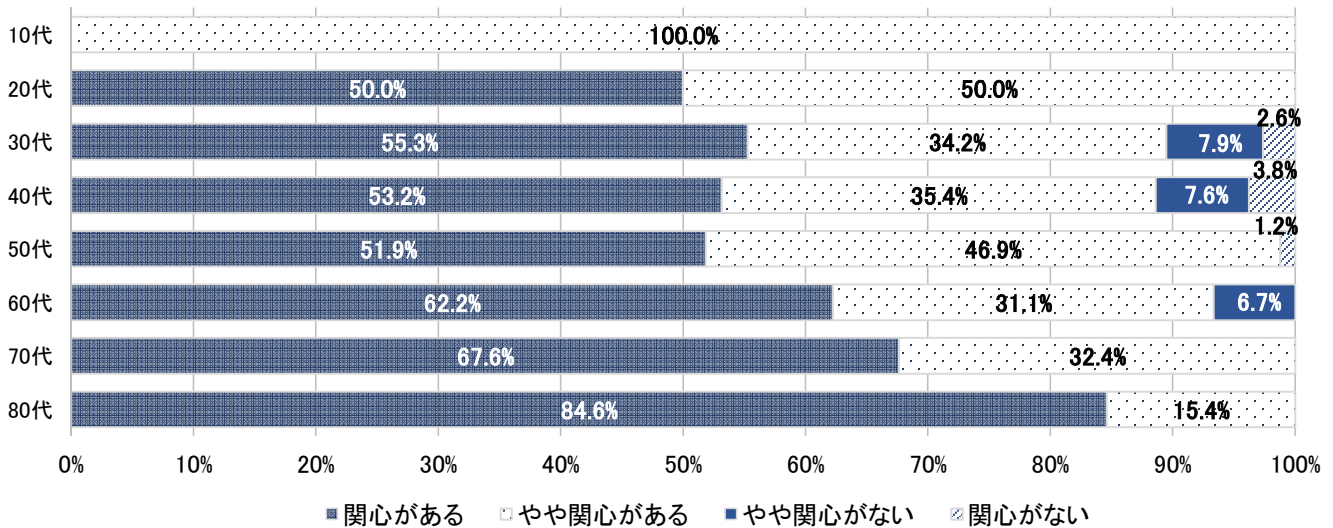
第1章 郡山市の緑の現状について

問1 緑に関心はありますか？（1つ選択）

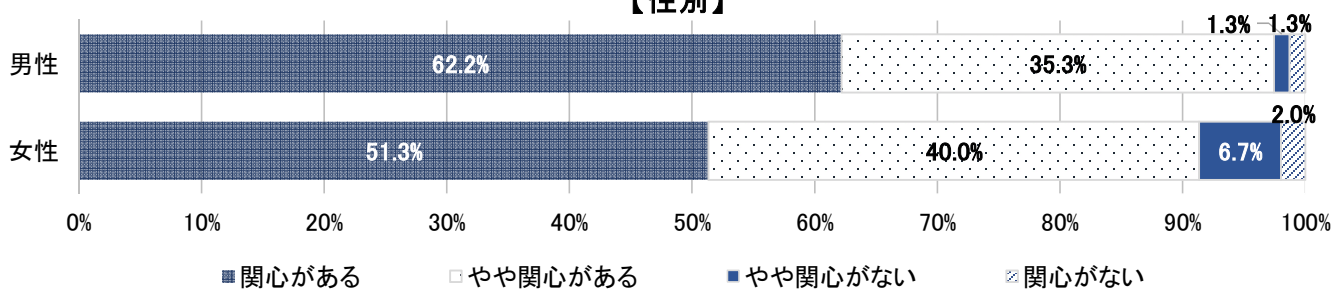
（回答者：306人）



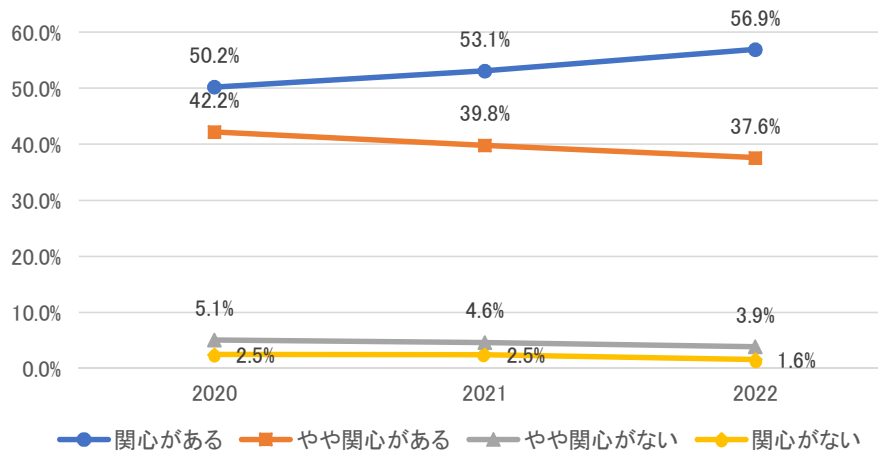
【年代別】



【性別】



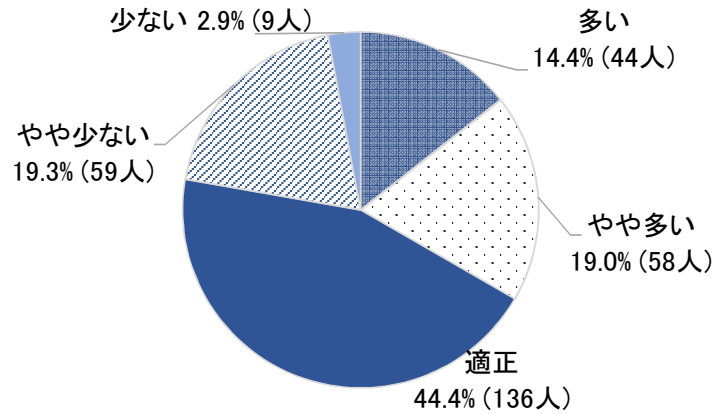
【関心度についての経年変化】



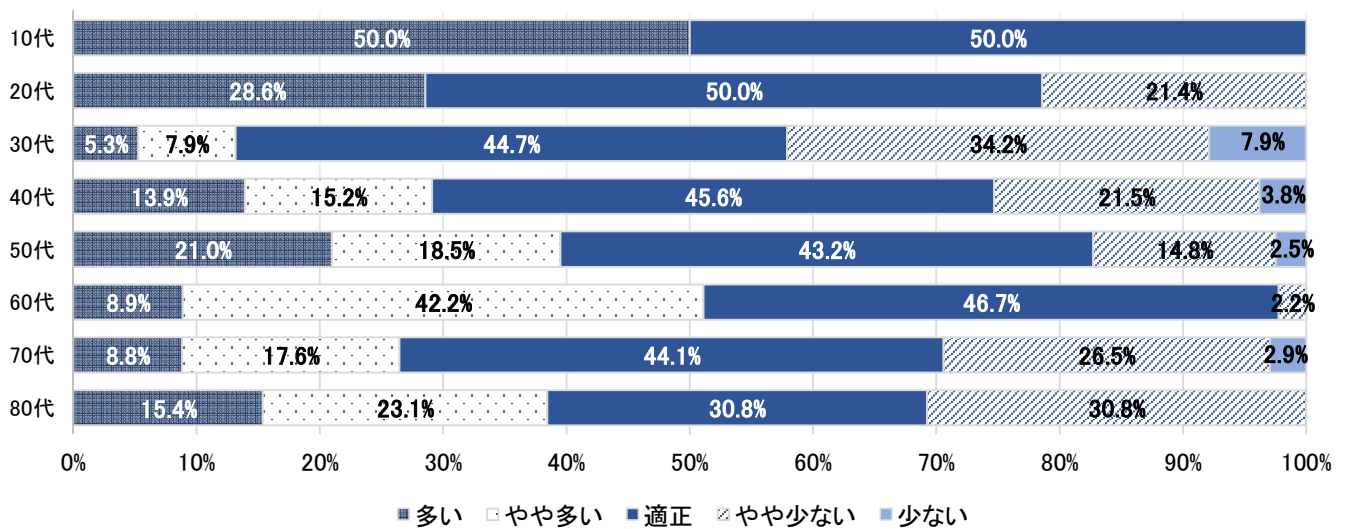
緑への関心について、「関心がある」と「やや関心がある」の合計は9割を超えており、関心は非常に高い。
年代別では、全年代で「関心がある」と「やや関心がある」の合計が8割を超えており、緑への関心が高いことが見受けられる。
男女別では、男性のほうが「関心がある」と回答した割合が10.9ポイント高い。
また、経年変化における「関心がある」の割合は、上昇が続いている。

問2 お住まい（職場、学校含む）周辺の郡山市の緑の量について、どのように感じますか？
（1つ選択）

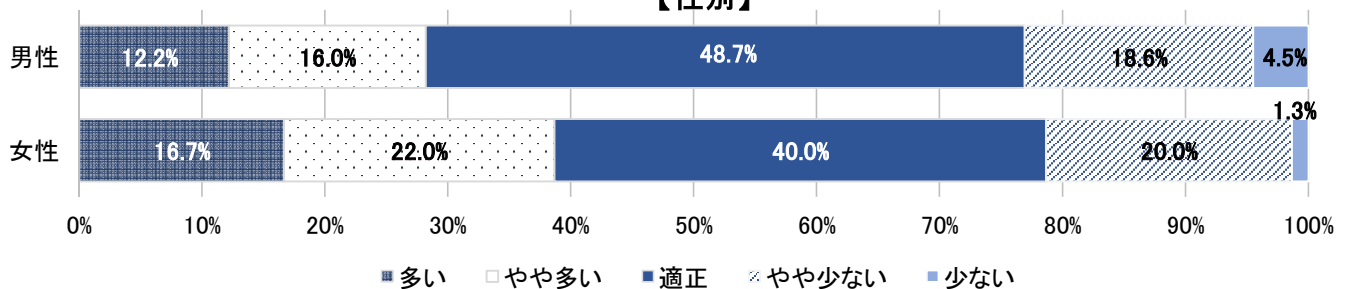
（回答者：306人）



【年代別】



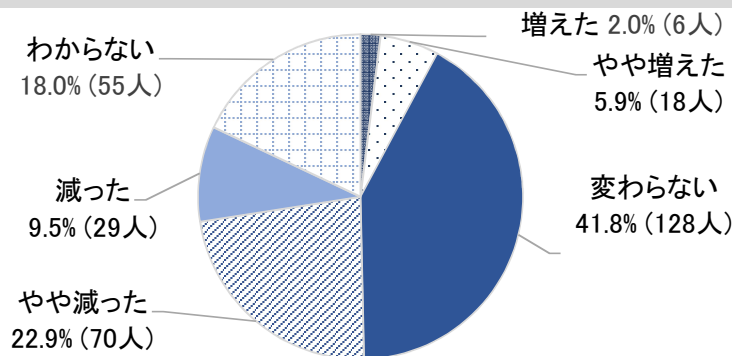
【性別】



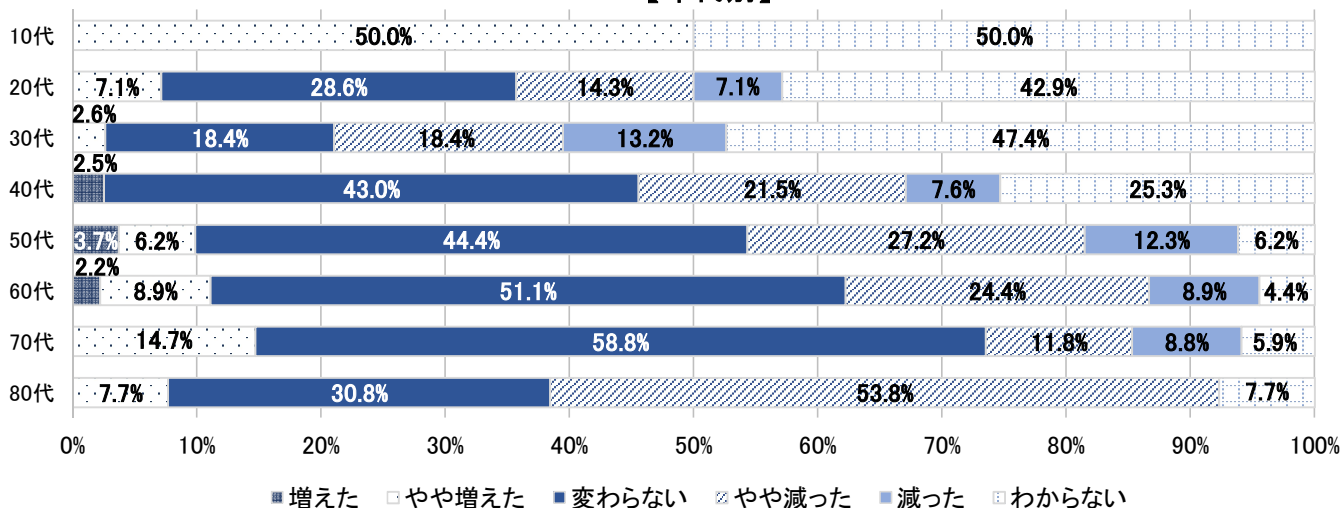
緑の量について、「適正」44.4%が最も多く、次いで「多い」、「やや多い」の合計が33.4%、「少ない」、「やや少ない」の合計が22.2%となっており、緑の量はおおむね満足されていると考えられる。
年代別では、60代、50代、80代の順に「多い」、「やや多い」の合計の割合が高くなっている。
男女別では、「多い」、「やや多い」の合計は女性の方が10.5ポイント高くなっている。

問3 10年前と比べて、郡山市の緑の量はどう変わりましたか？（1つ選択）

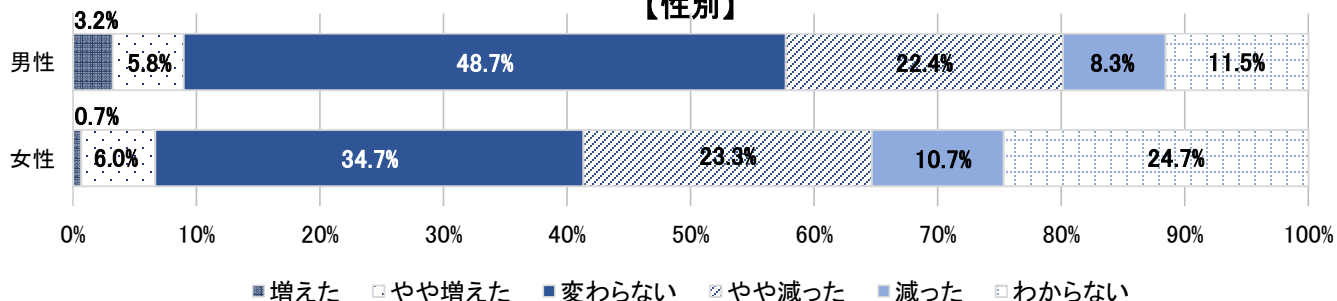
（回答者：306人）



【年代別】



【性別】



10年前の緑の量との比較について、「変わらない」41.8%が最も多く、次いで「減った」、「やや減った」の合計が32.4%、「増えた」、「やや増えた」の合計が7.9%となっており、現状の緑の量は相対的に減ったと感じられていることが見受けられる。

年代別では、70代、60代、50代の順に「増えた」、「やや増えた」の割合が高い一方、80代、50代、60代の順に「減った」、「やや減った」の割合が高い。

男女別では、女性と比べて男性の方が「変わらない」の回答が14ポイント多い。また、女性は「わからない」の回答が13.2ポイント多い。

問4 特に緑が増えた、または減ったと感じる具体的な理由や場所はどこですか？

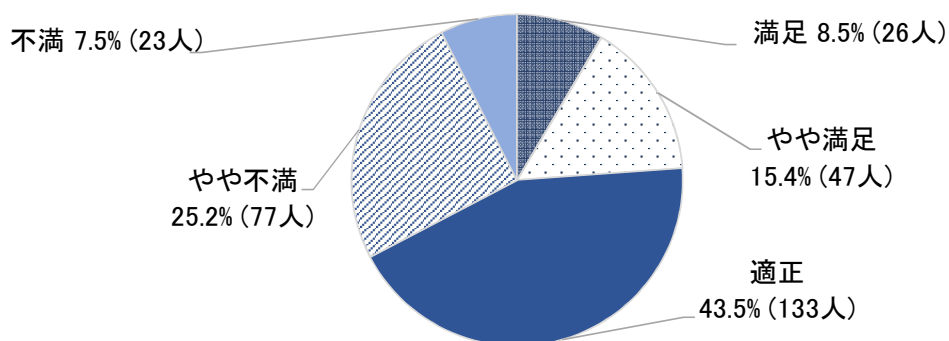
（回答者：88人）

緑が増えた場所としては、「公園」や「道路」などの回答があり、緑が増えた理由としては、「公園・緑地が増えた」や「街路樹が成長して大きくなっている」などの回答が多く、都市的土地利用が図られる場所においては、緑が増えたと感じられていることが見受けられる。

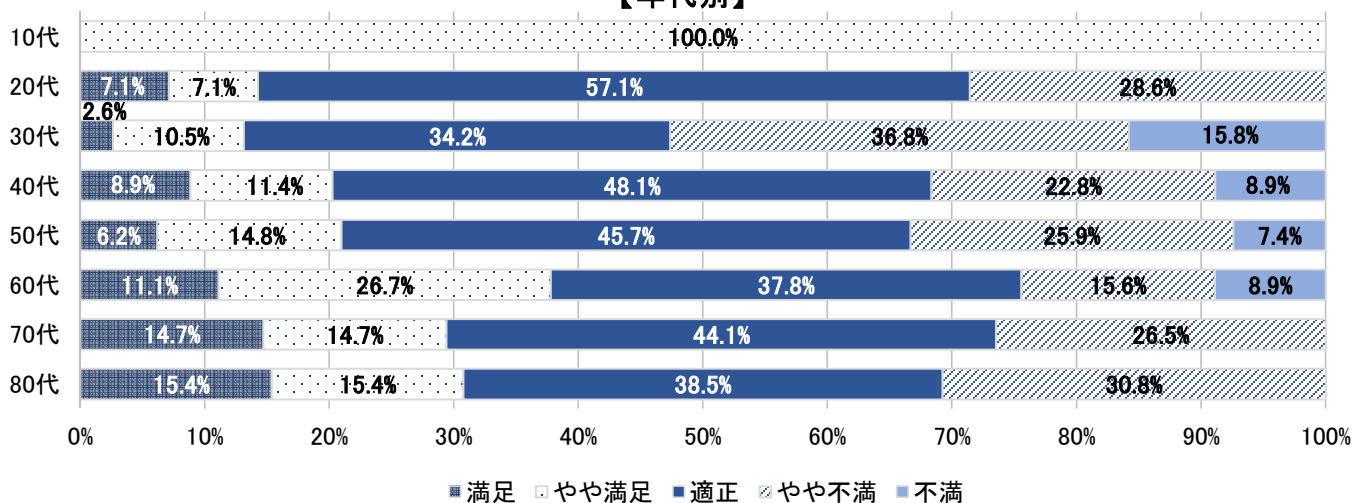
一方、緑が減った場所としては、「逢瀬川の桜」や「自宅周辺」などの回答があり、緑が減った理由としては、「宅地化により田畑が減った」、「伐採により街路樹が減った」との回答があった。自然的土地利用から都市的土地利用に転換された場所について、緑が減ったと感じていることが見受けられる。

問5 お住まい（職場、学校含む）周辺の郡山市の緑の質（※）について、満足していますか？（1つ選択）

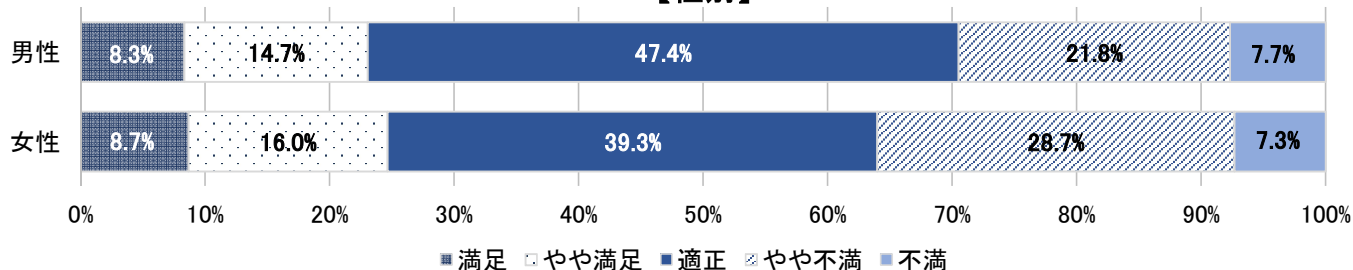
※「緑の質」とは、緑の量だけでなく、美しさや多様な役割（環境保全、防災、レクリエーション、景観等）などのことを示します。
（回答者：306人）



【年代別】



【性別】



緑の質について、「適正」43.5%が最も多く、次いで「やや不満」、「不満」の合計が32.7%、「満足」、「やや満足」の合計が23.9%となっている。「適正」、「満足」、「やや満足」の合計が7割弱となっており、緑の質について、おおむね満足されていると考えられる。

年代別では、60代、80代、70代の順に「満足」、「やや満足」の割合が高い。

男女別では、大きな差異は見られない。

問6 問5で「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」を選択した方に伺います。特に緑の質に満足、または不満に感じる具体的な理由や場所はどこですか？

（回答者：173人）

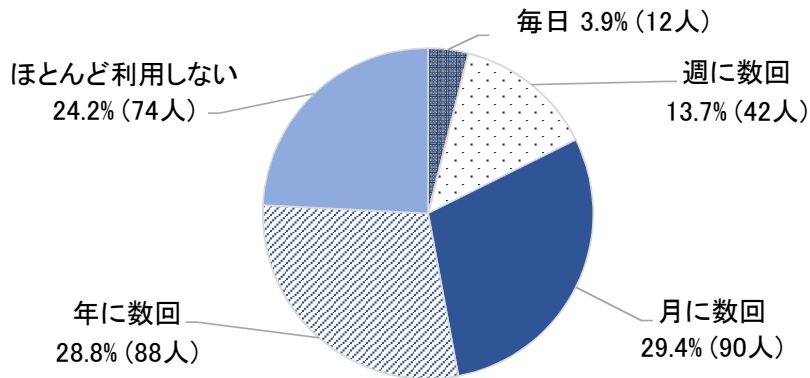
緑の質について満足を感じる場所としては、「開成山公園」や「街路樹」、満足を感じる理由としては、「近隣の緑の量が多い」などの回答であった。

緑の質について不満を感じる場所としては、「公園」や「街路樹」があり、不満を感じる理由としては、「公園、河川や空き地、空き家等の管理が行き届いていない」や「緑の量が不足している」などの回答があり、管理の状態が満足度に影響していることが考えられる。

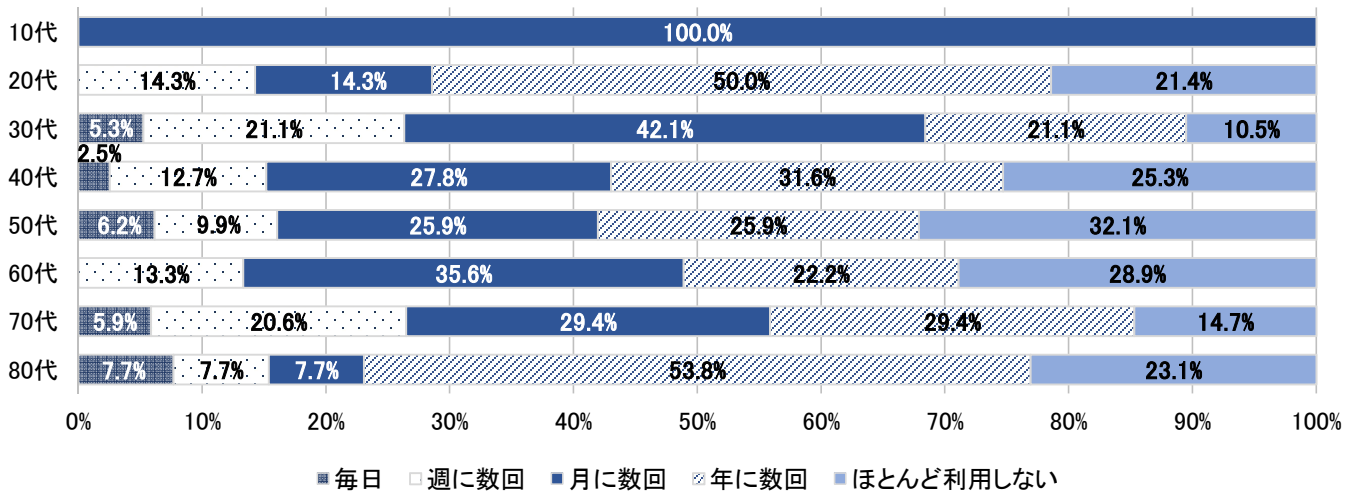
第2章 郡山市の公園について

問7 どの程度公園を利用しますか？（1つ選択）

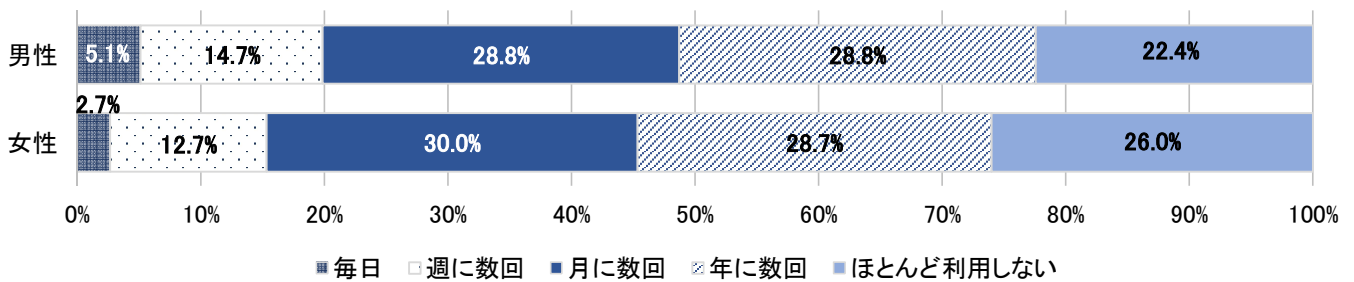
（回答者：306人）

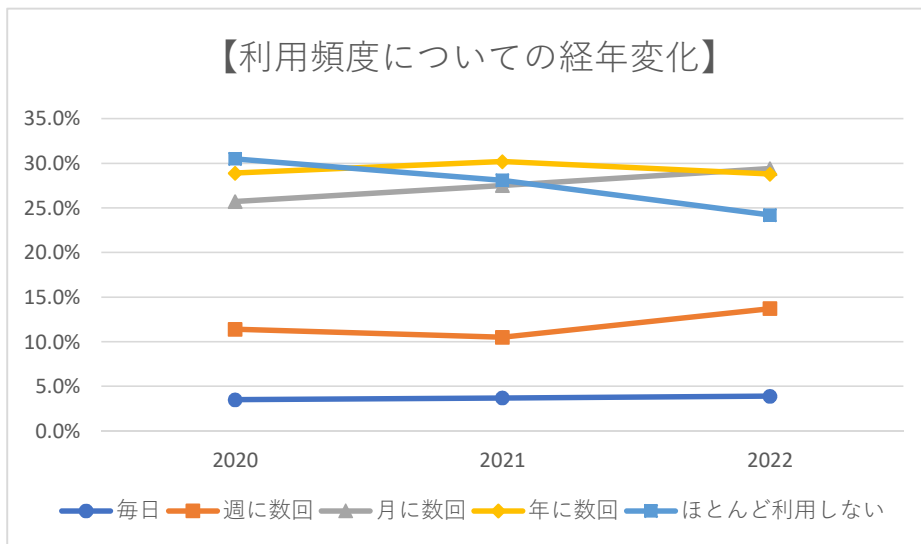


【年代別】



【性別】





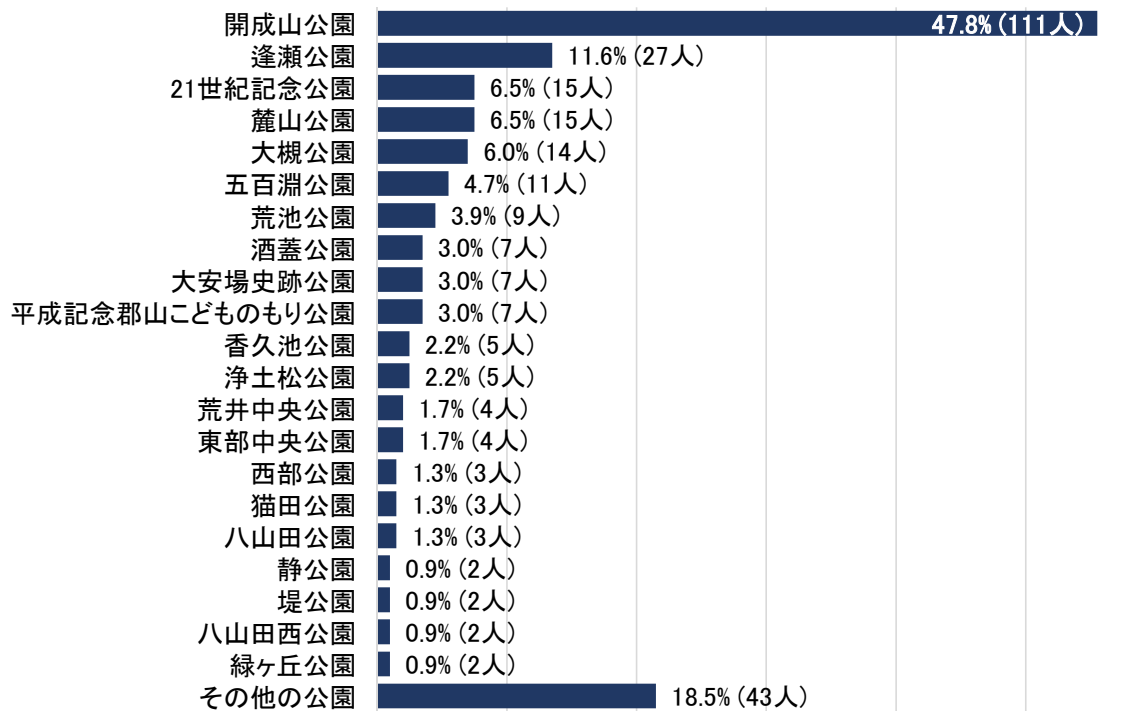
公園の利用頻度について、「月に数回」29.4%が最も多く、次いで「年に数回」28.8%、「ほとんど利用しない」24.2%、「週に数回」13.7%、「毎日」3.9%となっており、公園の利用頻度はあまり高くない。

年代別では、70代、30代、50代の順に「週に数回」、「毎日」の割合が高く、50代、60代、40代の順に「ほとんど利用しない」の割合が高い。特に50代の公園の利用頻度は非常に低い。

男女別では、大きな差異は見られない。

また、経年変化においても大きな変化は見られない。

問8 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園をお書きください。
(回答者：232人)

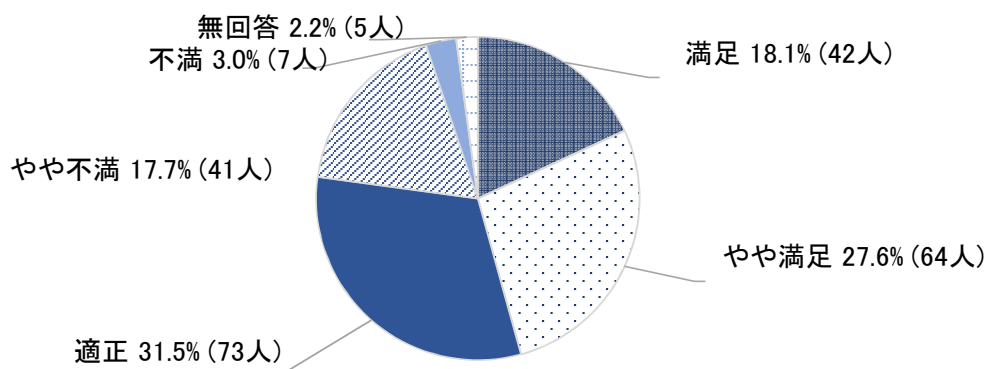


※「その他」を選択した方の主な意見

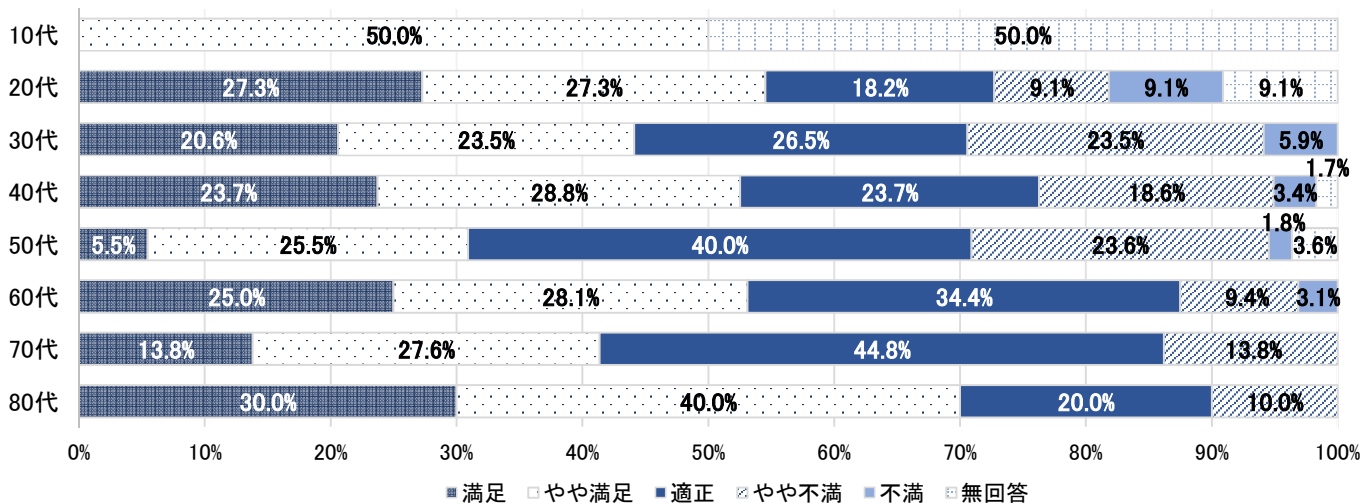
- ・いろいろな公園を利用している
- ・近所の公園

よく利用する公園の回答として、「開成山公園」47.8%が最も多く、次いで「逢瀬公園」11.6%、「21世紀記念公園」と「麓山公園」が6.5%、「大槻公園」6.0%、「五百淵公園」4.7%となっており、開成山公園が他の公園よりも多くの人に利用されている。

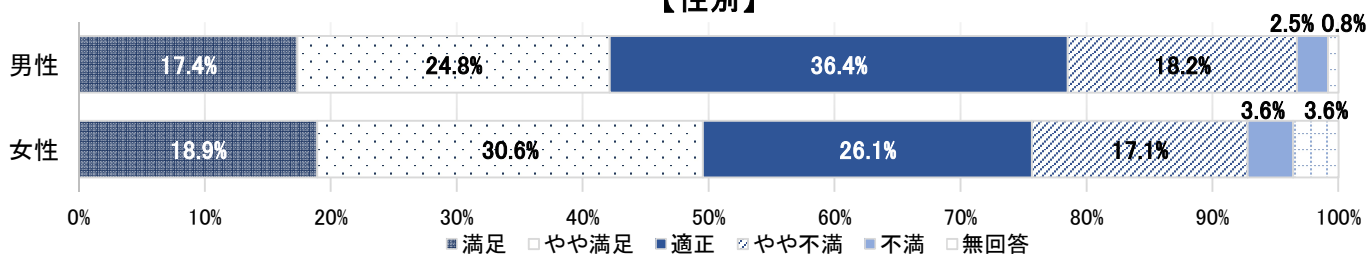
問9 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園について、満足していますか？（1つ選択）
 （回答者：232人）



【年代別】



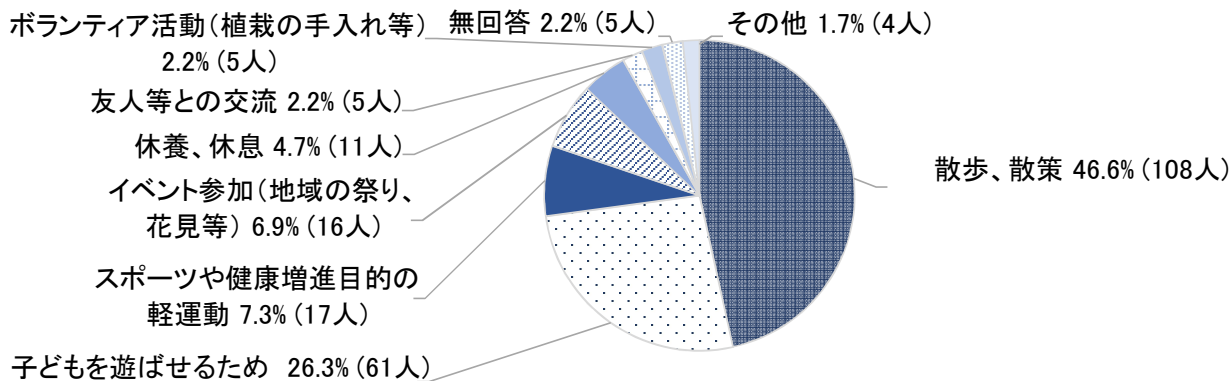
【性別】



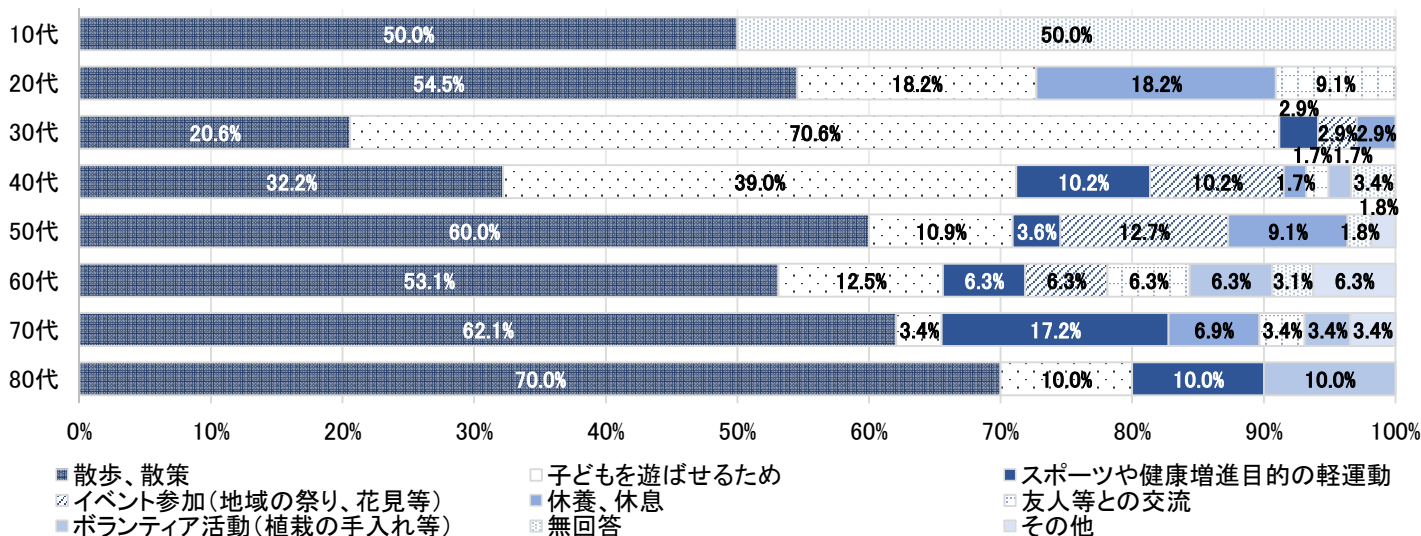
利用する公園の満足度について、「満足」、「やや満足」の合計が45.7%と最も多く、次いで「適正」31.5%、「やや不満」、「不満」の合計が20.7%となっており、「適正」、「満足」、「やや満足」の合計が約8割となっている。
 年代別では、80代、60代、40代の順に「満足」、「やや満足」の割合が高い。
 男女別では、女性と比べ男性の方が「適正」と回答した割合が10.3ポイント高い。

問10 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する理由は何ですか？（1つ選択）

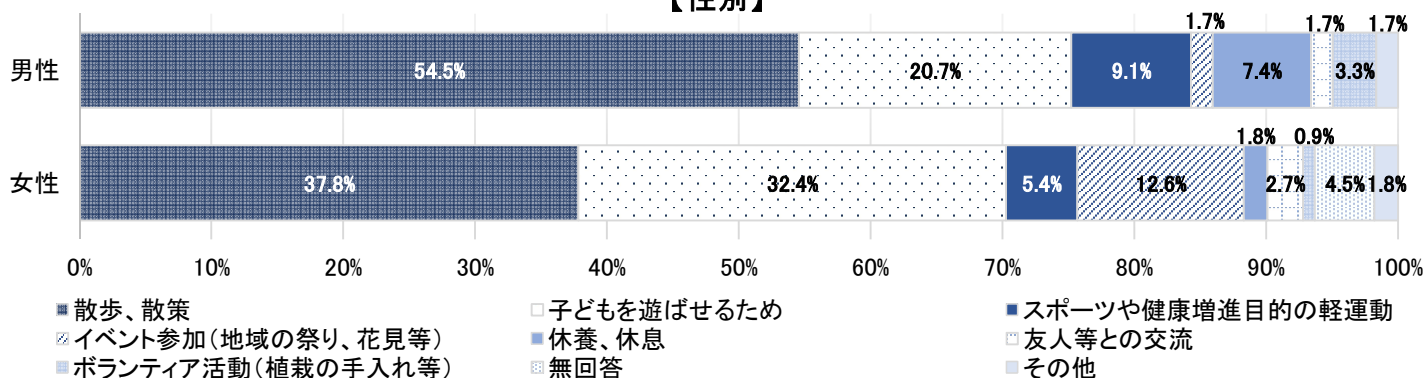
（回答者：232人）



【年代別】

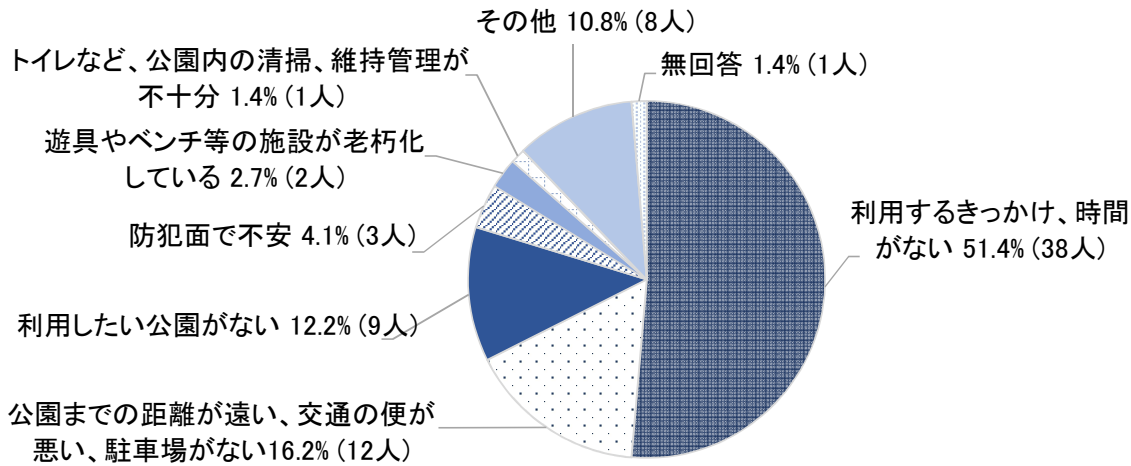


【性別】

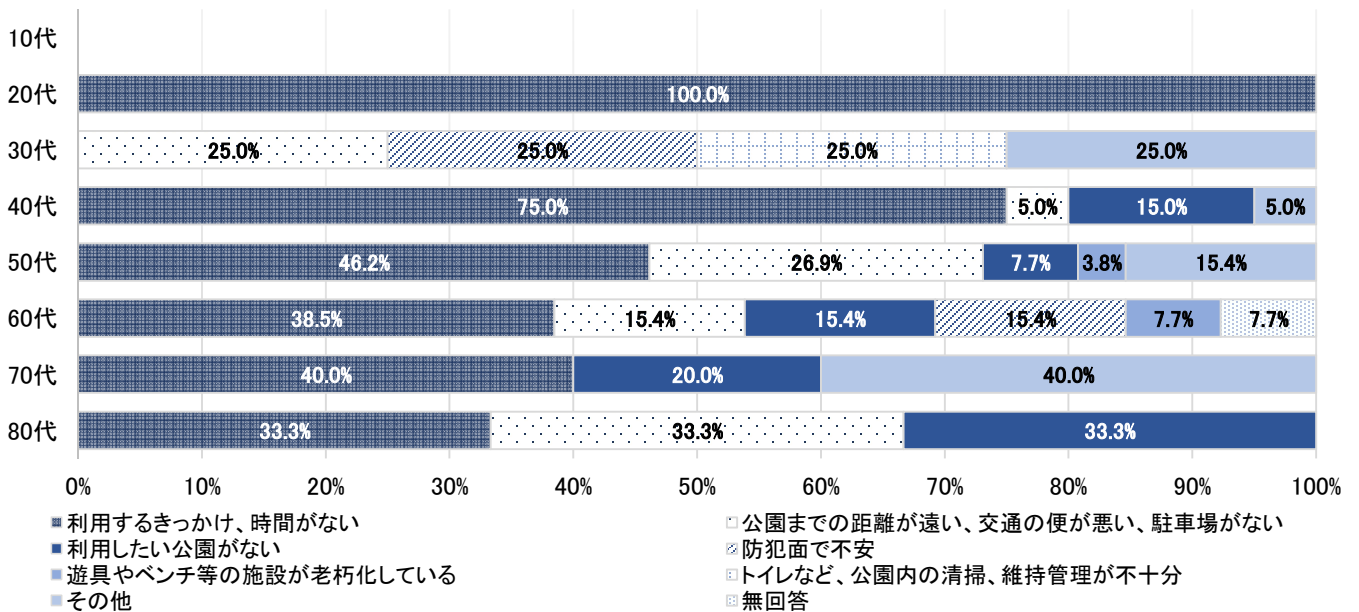


公園を利用する理由について、「散歩、散策」46.6%が最も多く、次いで「子どもを遊ばせるため」26.3%、「スポーツや健康増進目的の軽運動」7.3%、「イベント参加」6.9%、「休養、休息」4.7%となっている。
 年代別では、30代と40代は「子どもを遊ばせるため」の割合が高く、20代と50代から80代は「散歩、散策」の割合が高くなっており、年代により主な利用目的が異なることが分かる。
 男女別では、男性と比べ女性の方が「子どもを遊ばせるため」の割合が11.7ポイント高く、また、女性と比べ男性の方が「散歩、散策」の割合が16.7ポイント高い。

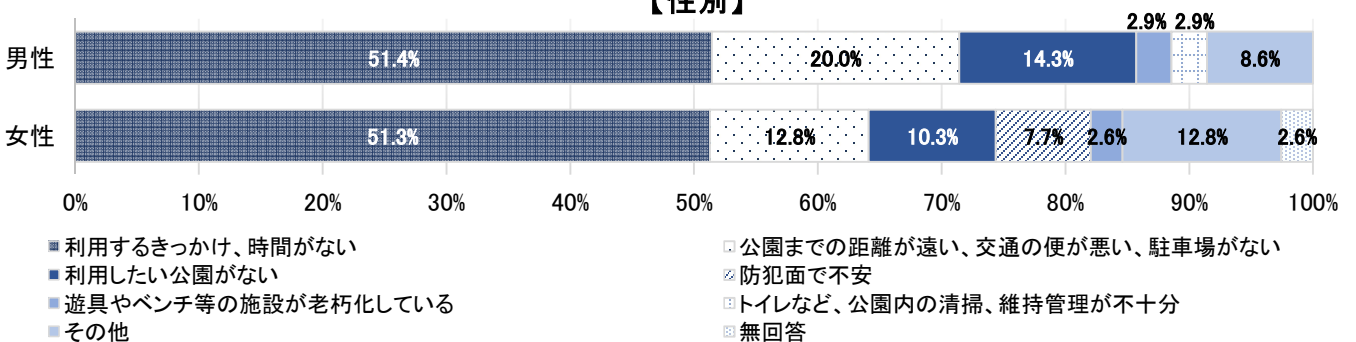
問11 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。利用しない理由は何ですか？（1つ選択）
（回答者：74人）



【年代別】

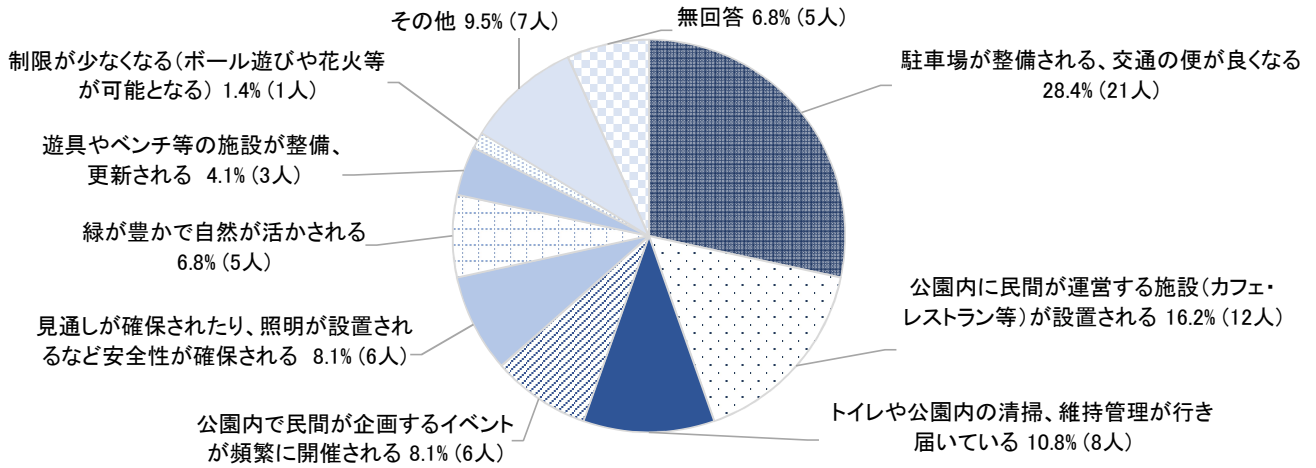


【性別】

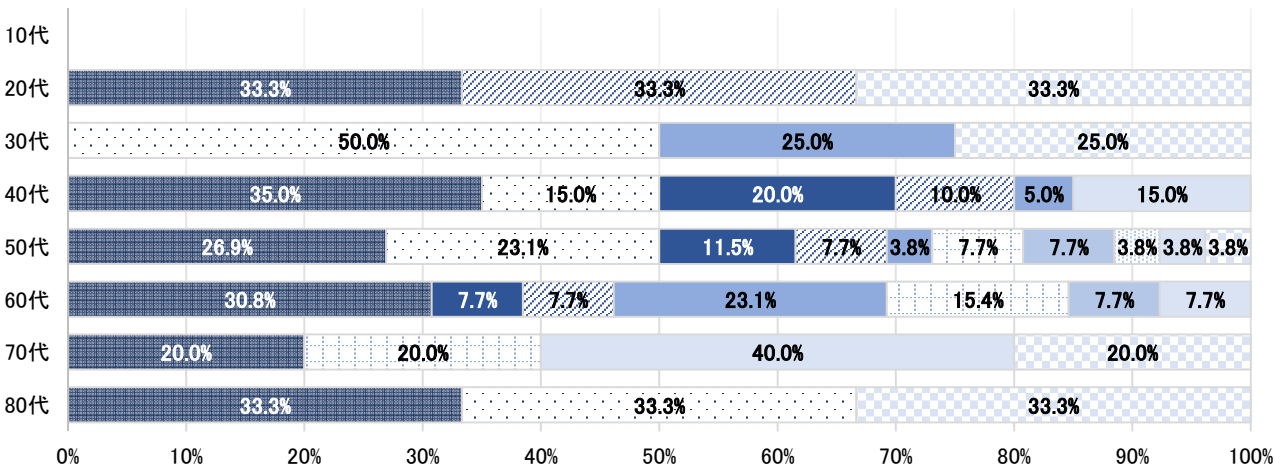


公園を利用しない理由について、「利用するきっかけ、時間がない」51.4%が最も多く、次いで「公園までの距離が遠い、交通の便が悪い」16.2%、「利用したい公園がない」12.2%となっている。
年代別では、どの年代でも「利用するきっかけ、時間がない」の割合が高い。
男女別では、大きな差異は見られない。

問12 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。どのような公園になれば利用したいと思いますか？（1つ選択）
（回答者：74人）

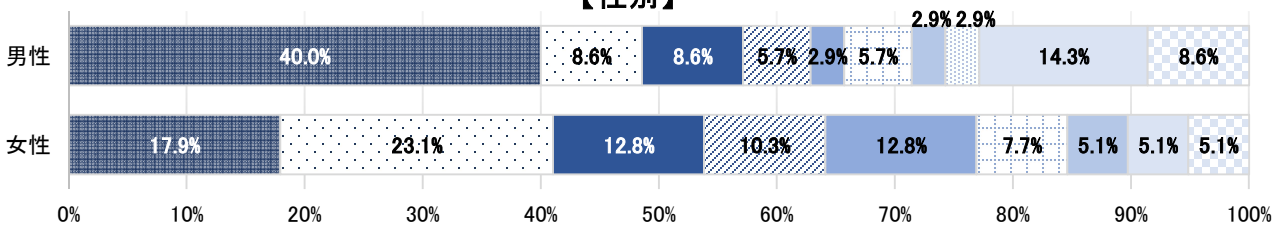


【年代別】



- 駐車場が整備される、交通の便が良くなる
- トイレや公園内の清掃、維持管理が行き届いている
- 見通しが確保されたり、照明が設置されるなど安全性が確保される
- 遊具やベンチ等の施設が整備、更新される
- その他
- 公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される
- 公園内で民間が企画するイベントが頻繁に開催される
- 緑が豊かで自然が活かされる
- 制限が少なくなる(ボール遊びや花火等が可能となる)
- 無回答

【性別】



- 駐車場が整備される、交通の便が良くなる
- トイレや公園内の清掃、維持管理が行き届いている
- 見通しが確保されたり、照明が設置されるなど安全性が確保される
- 遊具やベンチ等の施設が整備、更新される
- その他
- 公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される
- 公園内で民間が企画するイベントが頻繁に開催される
- 緑が豊かで自然が活かされる
- 制限が少なくなる(ボール遊びや花火等が可能となる)
- 無回答

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・身体障害者でも利用可能な公園
- ・筋トレ、トレーニングが出来る公園
- ・近くに公園が出来れば利用したい

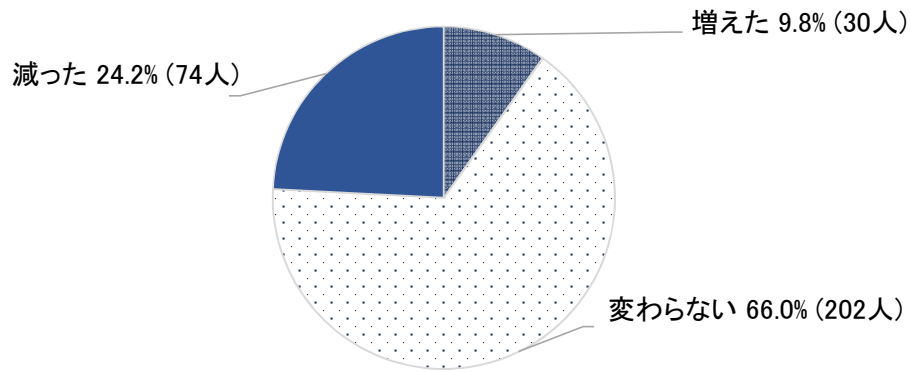
どのような公園になれば利用したいかについて、「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」28.4%が最も多く、次いで「公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される」16.2%、「トイレや公園内の清掃、維持管理が行き届いている」10.8%となっており、駐車場やカフェ・レストラン等の整備に加え、適切な維持管理により、利用者が増加すると考えられる。

年齢別では、40代から60代は「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」の割合が高い。

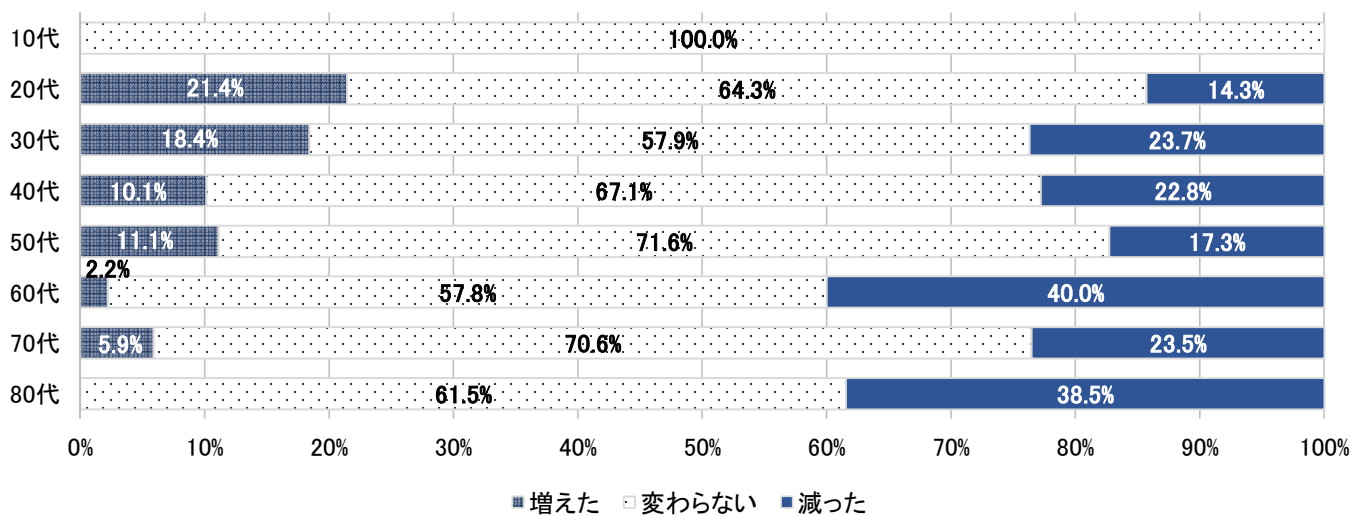
男女別では、男性の方が「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」の割合が22.1ポイント高く、また、女性の方が「公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される」の割合が14.5ポイント高い。

問13 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公園の利用頻度はどうなりましたか？（1つ選択）

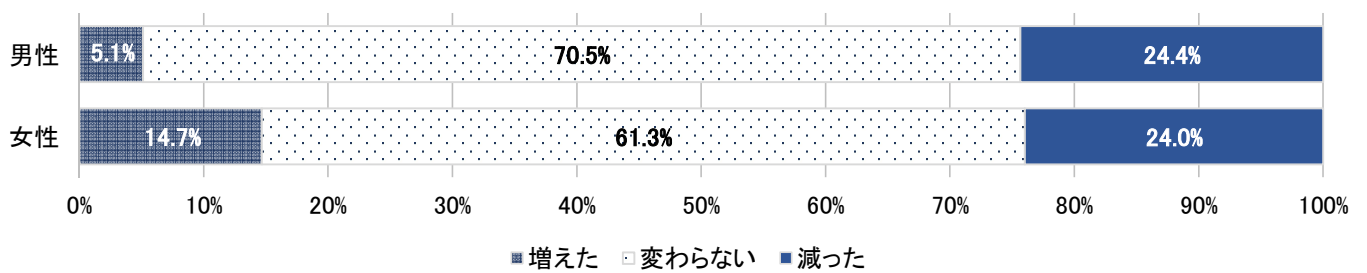
（回答者：306人）

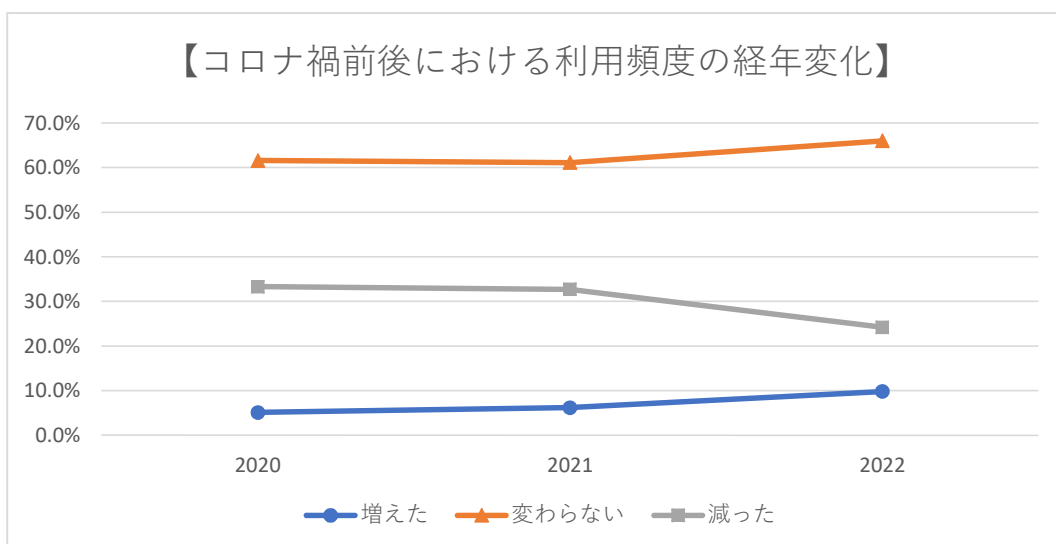


【年代別】



【性別】





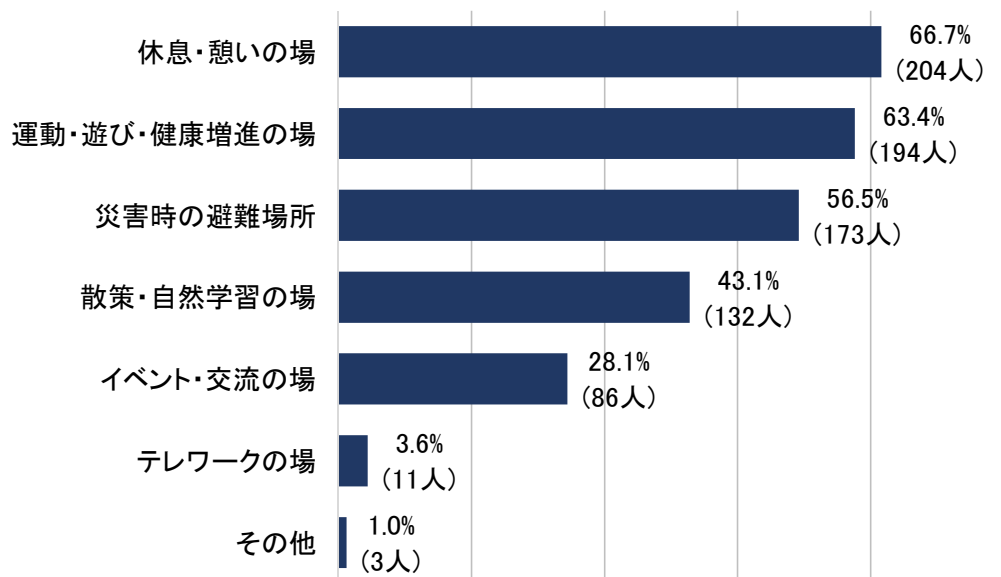
新型コロナウイルス感染拡大に伴う公園の利用頻度の変化について、「変わらない」66.0%が最も多く、次いで「減った」24.2%、「増えた」9.8%となっている。

年代別では、60代、80代、30代の順に「減った」の割合が高い。

男女別では、女性の方が「増えた」の割合が9.6ポイント高い。

また、経年変化においては、「減った」の比率が減少したが、これは2022年春にまん延防止等重点措置が解除となったことが影響していると思われる。

問14 新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」を踏まえ、公園の役割、機能として何が重要と考えますか？（3つまで選択可）
（回答者：306人）

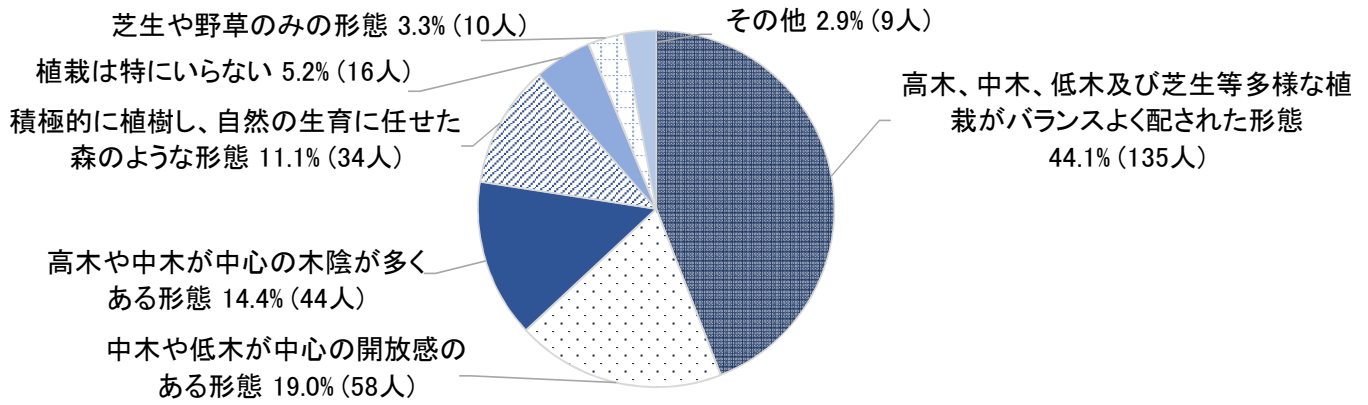


「新しい生活様式」を踏まえた重要な公園の役割、機能として、「休憩・憩いの場」66.7%が最も多く、次いで「運動・遊び・健康増進の場」63.4%、「災害時の避難場所」56.5%、「散策・自然学習の場」43.1%、「イベント・交流の場」28.1%となっている。

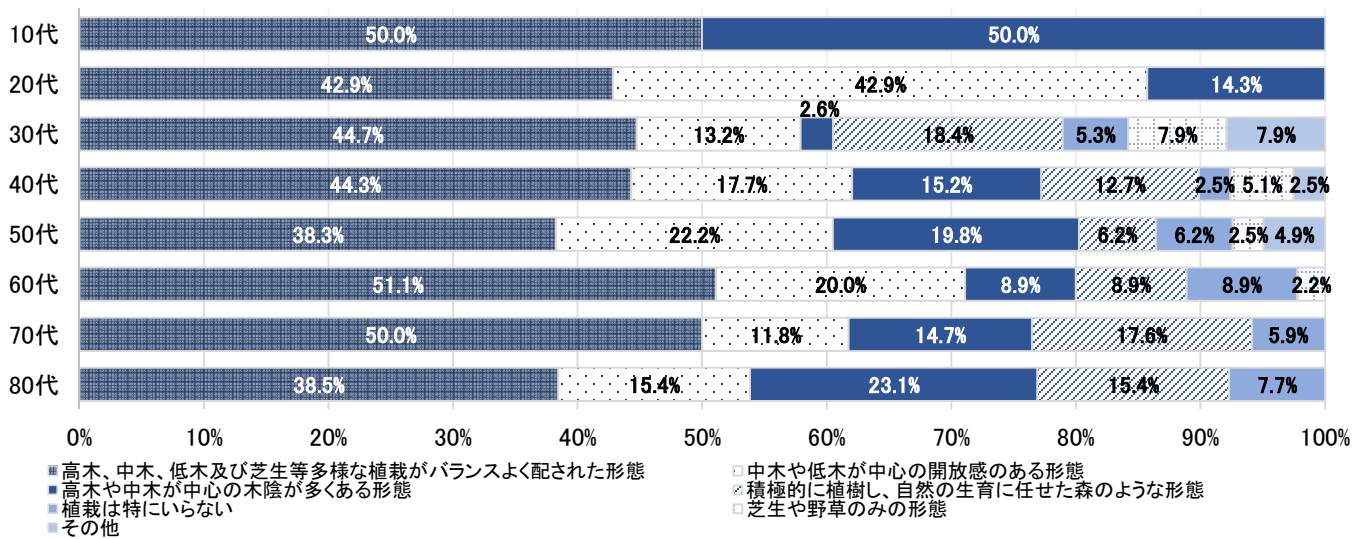
「休憩・憩いの場」、「運動・遊び・健康増進の場」、「災害時の避難場所」は半数以上が回答していることから、コロナ禍においても、特に重要視すべき役割・機能であると考えられる。

問15 公園の緑化について、どのような形態を望みますか？（1つ選択）

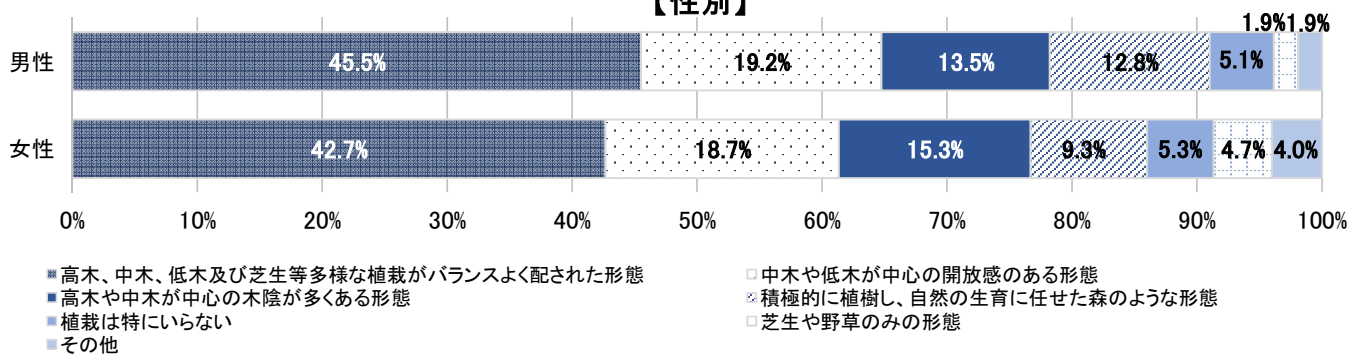
（回答者：306人）



【年代別】



【性別】



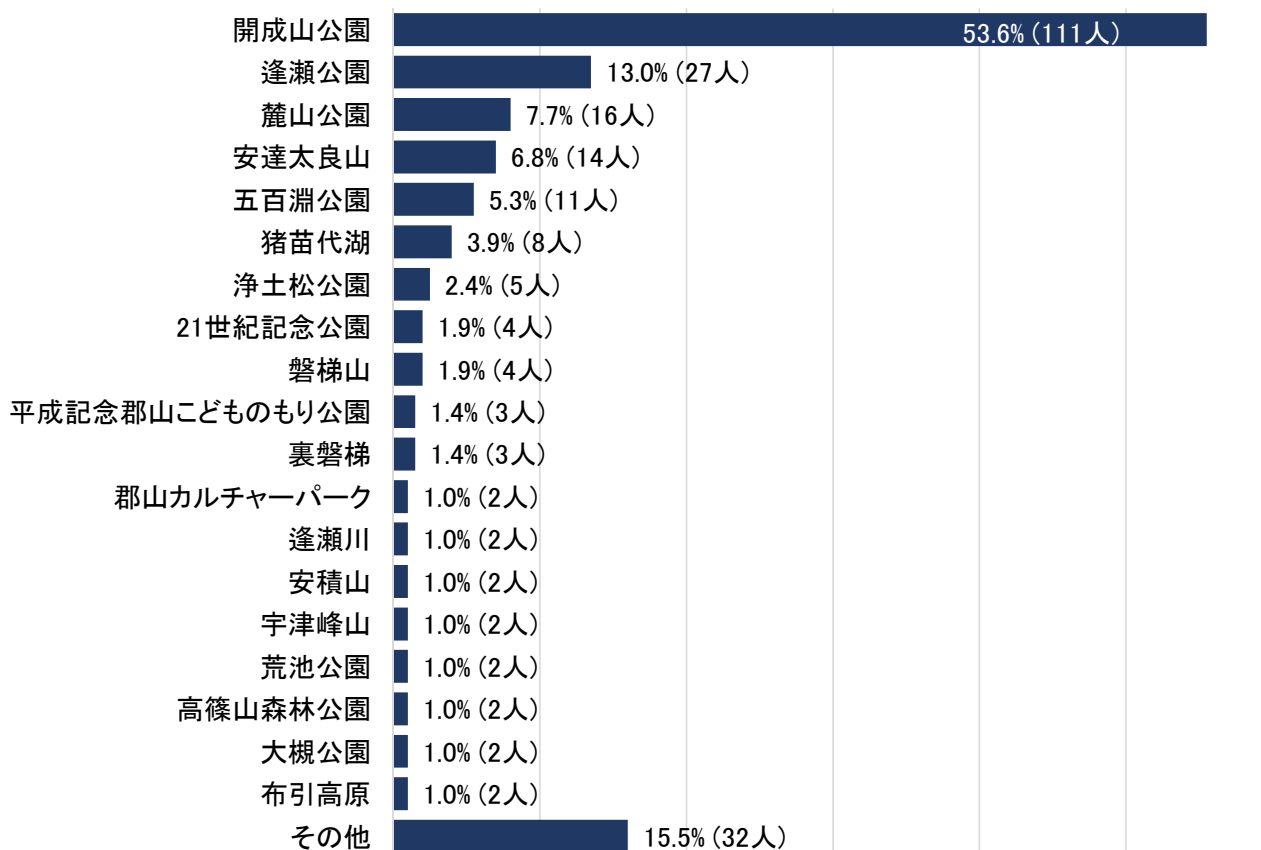
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・地元で生える植生に依拠しつつ、高齢者でも草刈りや伐採の手間がかからない近自然植生
- ・公園の規模に合わせた形態

公園の緑化について、「高木、中木、低木及び芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」44.1%が最も多く、次いで「中木や低木が中心の開放感のある形態」19.0%、「高木や中木が中心の木陰が多くある形態」14.4%となっている。
年代別では、全年代で「高木、中木、低木及び芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」の割合が高い。男女別では、大きな差異は見られない。

問16 後世に残したい、誇りに思う緑はどこですか？（自由記述）
（例：〇〇公園、〇〇川、〇〇山など）

（回答者：207人）



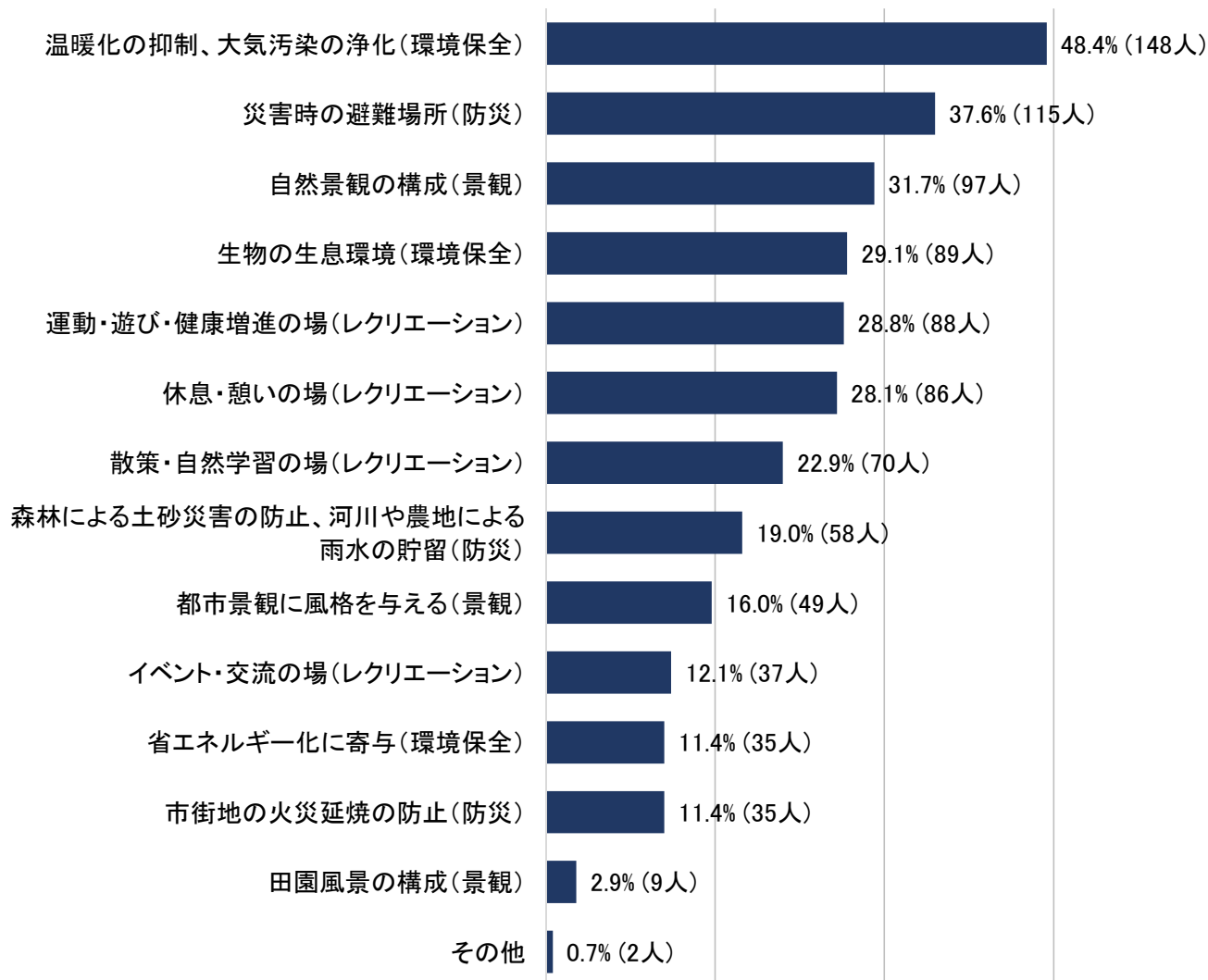
後世に残したい、誇りに思う緑として、「開成山公園」53.6%が最も多く、次いで「逢瀬公園」13.0%、「麓山公園」7.7%、「安達太良山」6.8%、「五百淵公園」5.3%となっている。「開成山公園」は、よく行く公園としても最も多く回答されており、市民にとって身近で後世に残したい場所として認識されている。

第3章 今後の緑の方針について

問17 郡山市の緑（グリーンインフラ含む）について、どのような機能が必要と考えますか？（3つまで選択可）

※「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、気温上昇の抑制、ゲリラ豪雨への対応等）を活用した、持続可能な地域づくりのことをいいます。

（回答者：306人）



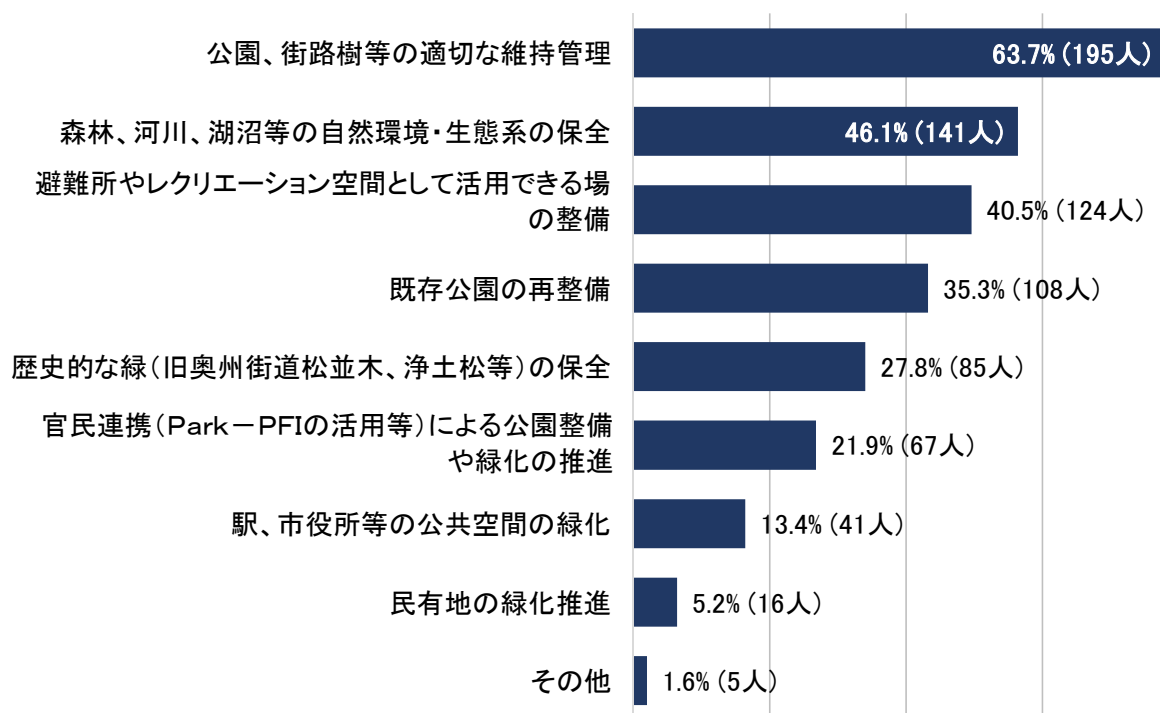
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・緑の公園とビジネス、オフィスの合体とハイテクネット環境などの融合
- ・緑の維持管理に市民が参加しやすく、適当な収穫物もある生産緑地と景観形成

緑の機能として、「温暖化の抑制、大気汚染の浄化（環境保全）」48.4%が最も多く、次いで「災害時の避難場所（防災）」37.6%、「自然景観の構成（景観）」31.7%、「生物の生息環境（環境保全）」29.1%、「運動・遊び・健康増進の場（レクリエーション）」28.8%、「休息・憩いの場（レクリエーション）」28.1%、となっており、地球温暖化や近年多発する大規模自然災害への防災意識の高さがうかがえる。

問18 あなたは、市が主体となって実施する取組みとして、郡山市にどのような緑に関する取組みを望みますか？（3つまで選択可）

（回答者：306人）

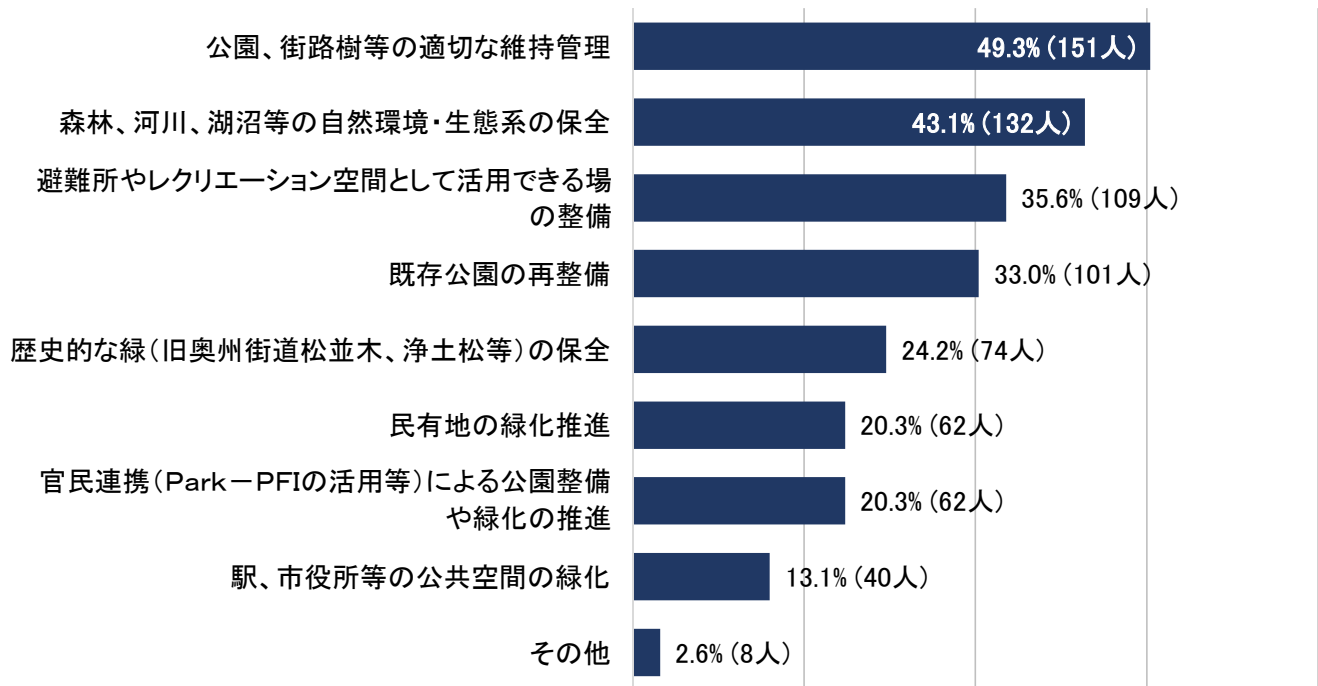


※「その他」を選択した方の主な意見

- ・歩道や田畑に落ちているごみを減らす取組み
- ・草刈りした後の刈草を緑地帯に有効投入する指導

市が主体となって実施する取組みについて、「公園、街路樹等の適切な維持管理」63.7%が最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」46.1%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」40.5%、「既存公園の再整備」35.3%、「歴史的な緑(旧奥州街道松並木、浄土松等)の保全」27.8%となっており、既存施設の適切な維持管理や再整備が望まれていることがうかがえる。

問19 あなたは、市が主体となって実施している緑に関する取組みのうち、市だけでなく市民の皆さまと一緒に取り組んだらよいと思う取組みはどれですか？（3つまで選択可）
 （回答者：306人）



※「その他」を選択した方の主な意見

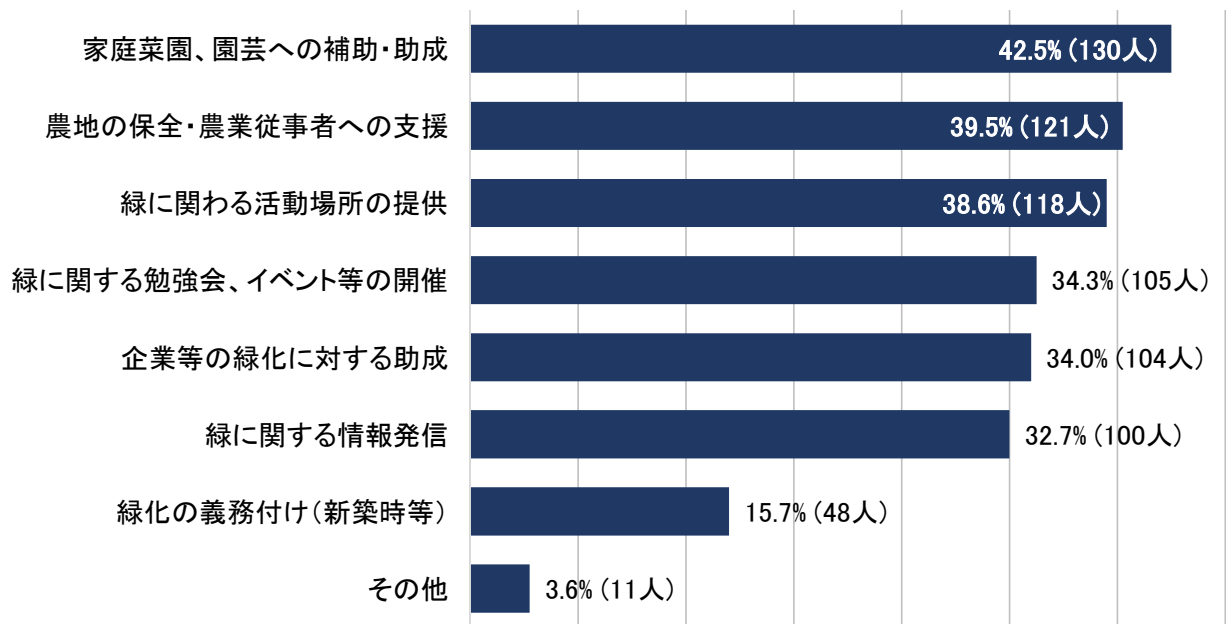
- ・家庭の庭や町内会で活かせる勉強会等の実習
- ・垣根などの剪定をした枝葉をチップ化して、個々の宅地内雑草防除のために有効利用する取組み

市民と市が協働して実施すべき取組みについて、「公園、街路樹等の適切な維持管理」49.3%が最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」43.1%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」35.6%、「既存公園の再整備」33.0%、「歴史的な緑(旧奥州街道松並木、浄土松等)の保全」24.2%となっている。

問18で上位となった既存施設の適切な維持管理や自然環境・生態系の保全については、市民協働で取り組むべきとの意見が多い。

問20 あなたは、市民等による緑に関する取組みに対して、市が行う支援としてどの取組みがよいと思いますか？（3つまで選択可）

（回答者：306人）



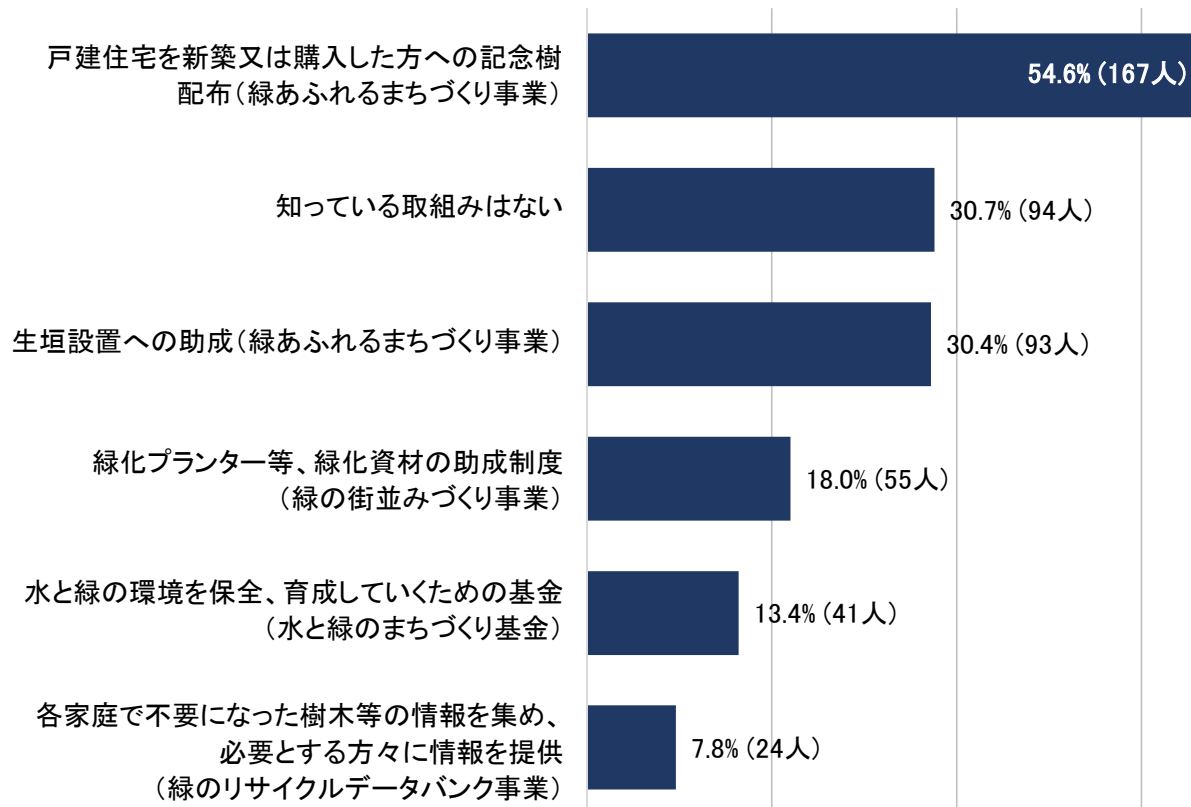
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・空家の庭や土地の除草や伐採、有効利用
- ・貸し農園事業の推進

市民などへの支援策等について、「家庭菜園、園芸への補助・助成」42.5%が最も多く、次いで「農地の保全・農業従事者への支援」39.5%、「緑に関わる活動場所の提供」38.6%、「緑に関する勉強会、イベント等の開催」34.3%となっている。

問21 郡山市では、次のような緑化支援策を実施しています。このうち、あなたをご存知の支援策はありますか？（複数選択可）

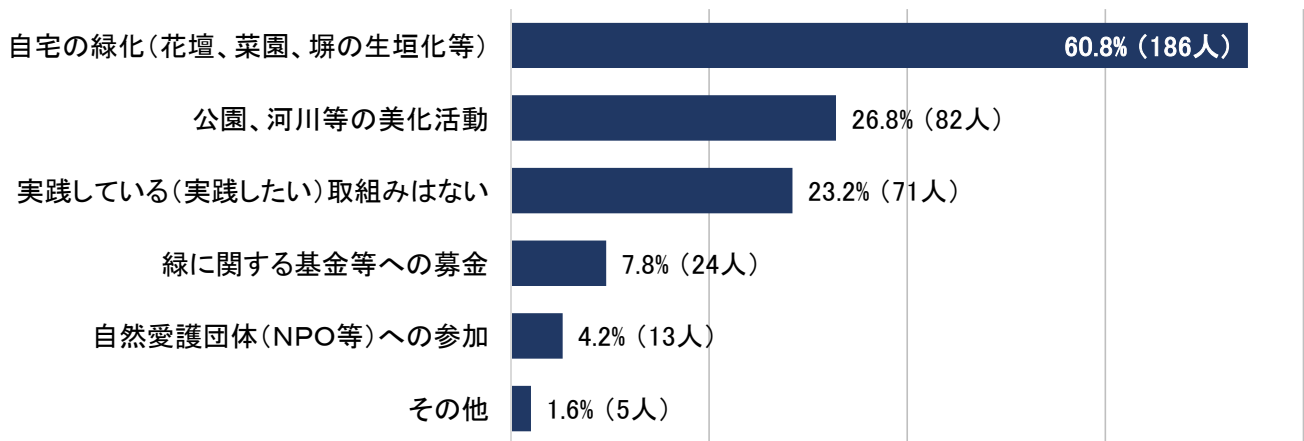
（回答者：306人）



市が実施する緑化支援策の知名度について、「戸建住宅を新築又は購入した方への記念樹配布（緑あふれるまちづくり事業）」54.6%が最も多く、次いで「知っている取組みはない」30.7%、「生垣設置への助成（緑あふれるまちづくり事業）」30.4%、「緑化プランター等、緑化資材の助成制度（緑の街並みづくり事業）」18.0%となっており、取組みを知らない方も多く、更なる周知が必要と考えられる。

問22 現在あなたが実践している（または、今後実践したい）緑に関する取組みはありますか？
（複数選択可）

（回答者：306人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・商店街街路樹の管理整備
- ・造成地の土手の自然公園的保全活動（レンゲソウなどへの雑草転換と刈草・落ち葉の活用）

実践している（または、今後実践したい）緑に関する取組みについて、「自宅の緑化（花壇、菜園、塀の生垣化等）」60.8%が最も多く、次いで「公園、河川等の美化活動」26.8%、「実践している（実践したい）取組みはない」23.2%、「緑に関する基金等への募金」7.8%となっている。美化活動などよりも、自宅の緑化への関心が高いことから、緑に関心を持ってもらうきっかけとして身近な緑に関する支援策の検討が必要であると考えられる。

また、問19では市民協働で実施したい取組みとして49.3%の方が「公園、街路樹等の適切な維持管理」を選択しているのに対し、「公園、河川等の美化活動」を実践している（実践したい）方は26.8%にとどまっていることから、市民が美化活動に参加しやすい仕組みづくりが必要である。

問23 緑の施策について、ご意見やアイデアがあれば、ご自由にお書きください。

(回答者：86人)

緑の維持管理について

【公園】

公園等で植栽後の手入れがされず、安心して遊んだり散歩できない公園や散歩道があり、残念です。(60代・女性)

小さな公園の維持管理が疎かになっており、せっかく近所に公園があるにも関わらず、利用者が少なく大変もったいないと感じる。(40代・女性)

【街路樹・道路等】

緑化整備で道路沿いや市営住宅の周りに植樹するのはいいけれど、その後の管理は住民任せでは無責任では?小さい公園も草ぼうぼうで子どもたちも遊べません。維持管理もしっかり行ってこそその緑化なのでは?(40代・女性)

幹線道路の樹木がすべて大きくなりすぎていると思う。すべての高木を伐採し、低木にしてほしい。(70代・男性)

道路上の植え込みについて、管理が行き届いていないのが現状だと思います。先日もランニングした際に気付きましたが、大量の落ち葉が歩道に落ちており歩き辛いのと、万が一タバコのポイ捨てなどにより火災にもなりかねないと感じました。今後の植栽などは公園を中心に実施し、道路の植栽は削減していく方向で検討すべきかと思います。(40代・男性)

市街地の街路樹は、落葉により排水路を塞ぎ通行の妨げになること、剪定作業時の交通の妨げや危険性、維持費用がかかる事から不要であると考えます。(40代・女性)

緑の整備について

【公園】

郡山駅東側に全天候型公園を作り、東側の活性化、災害時の避難場所に活用してほしい。美術館周辺を公園に希望します。(60代・男性)

大槻公園や浄土松公園、高篠山森林公園など、専門の企業にアドバイスをもらって、安心してキャンプができる公園にリニューアルするのいいと思います。(50代・女性)

緑の施策を行うならば、公園の駐車場確保や雑草を取り除くなど、周辺の環境も整備が必要だと思います。ただ緑を増やして手入れもされず見苦しい状態や、公園を使いたくても駐車場がなくて使用できないでは意味ないと思います。(50代・女性)

近隣の公園では遊具の増設など、子どもが魅力を感じるように整備頂いており、緑の中で過ごす機会作りをして下さっているように感じます。(40代・男性)

【街路樹・道路等】

道路脇の広葉樹はこの時期掃除が大変。(40代・女性)

郡山は街路樹が魅力的でない。また紅葉シーズンになっても街中で紅葉を感じづらい。イチヨウ並木みたいなのがあれば四季を感じられていい。(30代・男性)

市民参加について

【ボランティア】

高齢者の雇用を確保し、シニアのパワーを使った緑の整備を行う。(40代・女性)

住宅街の既存の小さな公園、街路樹や低木の整備を地域の人に丸投げ感が酷いと思う。地域に任せるのも良いけど、高齢化や町内会破綻が増える中での課題だと思う。(40代・女性)

【イベント・コミュニティ】

家に庭等が無い住民に「貸し花壇」など、多くの住民が、参加出来る企画があればいいと思います。(50代・男性)

花の種や花苗やチラシと一緒に配るイベント。(50代・女性)

市の緑化支援制度について

【既存制度の周知】

市の緑化支援策をほとんど知らなかったので、積極的に周知し、簡単に利用できる仕組みがあれば良いと思いました。(40代・女性)

【新制度の要望】

使っていない土地や空き家などが生活圏内に多々あり、雑草が生い茂っていたり空き家の木が剪定されていないなど、土地がもったいなと感じます。家庭菜園をやりたい人や食育の活動などに使用できれば、町の景観も変わってくると思います。(30代・女性)

緑化やSDGsに取り組んで居る企業に対し、もっと支援策を講じてみてほしいと思います。(30代・男性)

農業従事者や農地や山林を相続した者に対し、環境保全に対する補助(労力でも何でもいい)や支援をお願いしたい。高齢化に伴い、手入れが出来ないままの土地、相続人がリターンして来ないため、仕方なく近所の人が手入れをする(自分の所でも精一杯なのに)など、問題点はたくさんある。(50代・女性)

街路樹や家庭樹木の落ち葉を回収し、腐葉土を作る取り組みはどうか。ゴミとして出される伐採木や落葉、草の活用こそ、サステナブルでは？(50代・女性)

市の方針について

【市の方針】

防災を意識した緑化を考えて欲しい。(50代・女性)

地域の緑化は、住民の生活に潤いを与える源であるので、今後も市としても重点課題として取り組んでほしい。(80代・男性)

緑を増やすのはいいと思いますが、その維持に税金がかかるのはちょっと違うと思います。(40代・女性)

緑のあり方について

【緑のあり方】

自宅の土地をコンクリートにする方が増えています。残念なことです。雑草の除去や手間を考えると自分もそうしようと思っ
てしまいます。難しいとは思いますが、緑の重要性を広めていただきたいと思います。(50代・女性)

最近、激甚災害が多発するようになってきています。水害等から市街地を守るために丘陵地や森林の開発を抑制して自然の
保水力を維持する事が大事です。(50代・男性)

その他

おたまじゃくしやメダカなどが観察できる場所ができると、子どもの教育にも役立つのではないかと思います。(40代・女性)

野鳥の糞害のため、市街地において立ち木を伐採する例がみられます。難しい問題とは思いますが、先進的な対策をしてい
る都市の例があれば知りたいです。(70代・男性)

緑化も重要ですが、昨今のカラスの増殖はどうにかならないもののでしょうか。新幹線のホーム等非常に不衛生で景観上も良く
ありません。(60代・男性)